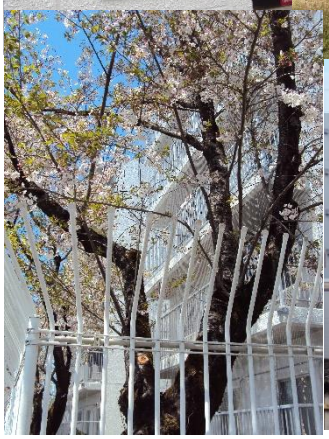
黒野寮概要　2023 年版



岐阜大学の学生寮を「黒野寮」といいます。入居定員は男子 200 人、女子 75 人です。黒野寮は大学のキャンパス内にあります。主に遠方から入学した学部生を対象とし、その修学を容易にすることを目的としています。

また、学生寮は、学生が日常生活を営む場における団体生活や交流を通じて社会性を身につけ、人格形成を行う「教育」の場としても位置付けられます。

寮の基本構造は、個室（9 ㎡）5 部屋がリビングルーム 1 部屋を共有し、このユニットが 1 フロアに 2 つ（女子は 3 つ）あり、キッチン、洗面、トイレを共有しています。これを「ブロック」と呼び共同生活の基本単位になります。

ここに居住する学生は「寮自治会」を作り、自分たちでより良い生活を行うための自主活動を行っています。

建物は建築年が昭和 55 年から 58 年で、外壁塗装以外の大幅な改修工事はしていませんが、小さな改修等をしながら現在の住居環境を作っています。個室があるために最低限のプライバシーは確保できますが、他はブロックごとや全体で共同使用しています。なお、平日昼間は管理人がおりますが、風呂の準備・清掃は当番制で行い、ブロック共有部分の掃除当番もあり、ゴミ出し等も決められた曜日に行っています。また、ブロックごとの会議も開催し、さらに寮自治会の役員も務めていただき、寮独自の行事もあります。

また、入寮と同時に「黒野寮光熱水料等支払会」及び「寮自治会」に自動的に加入することになり、退寮するまでは、その構成員（会員）となります。それぞれの規約に従い生活いただくことになります。

寮費・共益費・光熱水料が月々13,500 円～で生活できるのも大きな利点です。ただし寮には食堂がないので、多くが自炊や、学生食堂（大学生協の食堂）を利用して生活をしています。なお、キャンパス内のコンビニが 7 時から 22 時まで営業しています。

Gifu University Kurono-ryou

■所在地等

所在地：〒501-1193　岐阜市柳戸１番１（構内北東奥）　　建物面積：　5,043 ㎡

構造：　Ｒ１（管理棟）、Ｒ５（居住棟）　　開寮：　1981（昭和 56）年 10 月 1 日

■入寮許可対象・許可基準

対象：学部生正規生（原則）

基準：以下のいずれかに該当する必要があります。

・大学の半径 80km 以上の地域に在住すること

・通学に片道 2 時間以上を要すること

・通学定期（1 か月）の額が 2 万円を超えること

・身体障害のため通学に支障があること

・その他特別な事情があること

在寮許可期間：新入生は所属する学部等の修業年限

新入生以外の学生は修業年限までの残存期間

■経費

入寮時に預託金として 20,000 円を振込

毎月の寄宿料等は、３ヶ月分を預金口座の自動振替（自動引落）により納付

寄宿料	4,300 円	
共益費	2,200 円	居室内でのインターネット接続料も含む。
光熱水料	7,000 円	共用分は入寮者による応分の負担。個人使用分は使用料に応じて負担。不足が生じた場合は預託金から支出。預託金をもってしても超過した場合は、追加で預託金を納付。預託金は、退寮時に退寮時諸経費と併せて精算し、残額を返納。
合計（毎月）	**13,500 円**	途中入寮・退寮する場合は、その月も必要（日割計算なし）。

■施設等

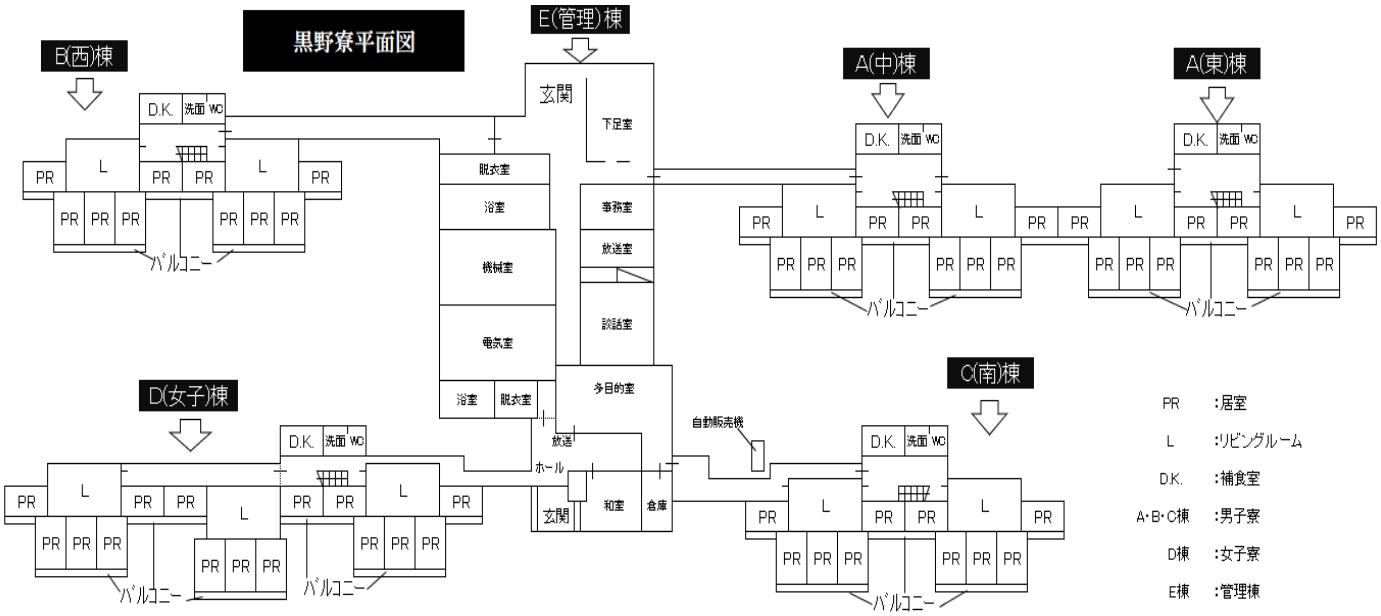
	Ａ棟（男）	Ｂ棟（男）	Ｃ棟（男）	Ｄ棟（女）	Ｅ棟(管理)	計
延面積	1,660 ㎡	830 ㎡	830 ㎡	1,255 ㎡	468 ㎡	5,043 ㎡
建面積	332 ㎡	166 ㎡	166 ㎡	251 ㎡	468 ㎡	1,383 ㎡
建設年度	Ｓ55	Ｓ55	Ｓ58	Ｓ58	Ｓ55，58	-
定員	100 人	50 人	50 人	75 人	-	275 人

■設備

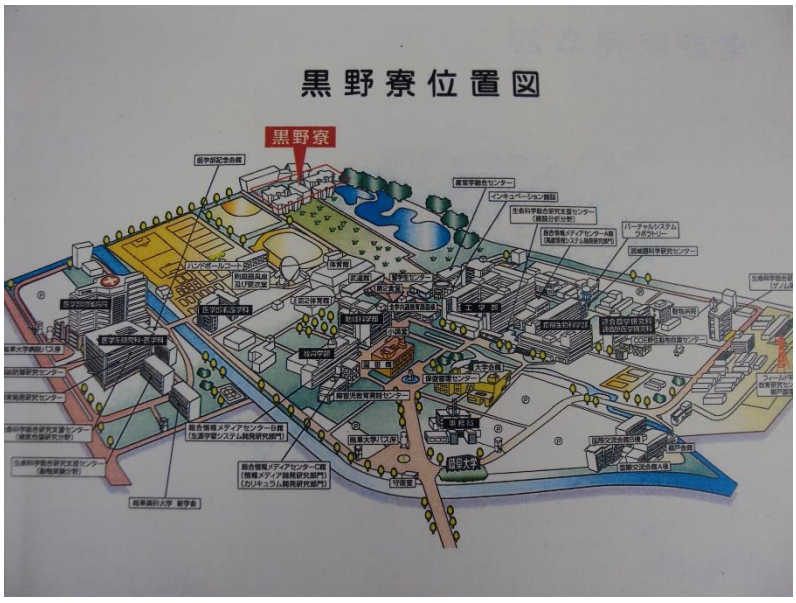
室名	室数	設備	室名	室数	設備
居室	275	全室洋式の個室 W2.5m*D3.6m*H2.5m	談話室･多目的室	3	黒板、時計、ガス暖房機、卓球台
補食室	25	流し台、ガスコンロ、給湯器、冷蔵庫、電子レンジ	玄関･ホール	2	掲示板、傘立、郵便受 防犯カメラ
ﾘﾋﾞﾝｸﾞﾙｰﾑ	55	（18 ㎡）エアコン	放送室	1	放送設備
洗面洗濯.便所	25	洗面台、洗濯機、鏡他	自販機ｺｰﾅｰ	1	清涼飲料水、めん類
浴室	2	脱衣棚、ﾍﾙｽﾒｰﾀｰ			

その他：インターネット（無線ＬＡＮ）は居室において、利用可能です。

■配置図



■黒野寮とは



黒野寮は、本学唯一の学生寮として大学の統合移転に伴い 1981（昭和 56）年 10 月に開寮（一部）した新規格寮です。

寮の建物は大学構内（北東）の一角にあり、管理棟も含め 5 棟に分かれています。このうち 3 棟が男子寮、1 棟が女子寮となっています。建物の形は、管理棟を中心に左右に翼を広げたようになっており、管理棟と各棟が開示方式の渡り廊下で結ばれています。

本学は 1984（昭和 59）年に医学部を除く各学部等が現在の柳戸地区に統合移転しましたが、これに伴って、各地区に分散していた学生寮を統合して現在地に建設したのが本寮です。

ちなみに、この寮名は大学が統合移転した柳戸地区の周辺地域が黒野であることから、この名称が付けられました。

■黒野寮の特徴

この寮の居室がすべて個室になっているため、適度にプライバシーが保たれる反面、寮生個人が自分の殻に閉じこもってしまうことも考えられるので、集団（寮）生活のメリットとして数室の居室ごとにリビングルームを設けることにより、寮という日常生活を営む場における団体生活を通じて社会性を身に付け、学生相互の人間的交流による人格形成を行うという面が薄れないように配慮されています。1 室の共有リビングルームを 5 つの居室が囲むように設計したいわゆるクラスター方式を採用したことが大きな特徴になっています。

■本学学生寮の沿革

1924 年 4 月	岐阜高等農林学校開校と同時に「凛真寮」が設置された。この「凛真寮」の名称は、東海林初代校長が第 1 回入学式の式辞の中で、同校教育のモットーとして示された「凛乎たれ」「真摯たれ」の 2 語「凛乎真摯」から命名されたものです。（定員 80 人）
1932 年 10 月	岐阜高等農林学校実務科生のための寄宿舎として実験農場の一角に「瑞天寮」が設置された。（定員 25 人）
1934 年	岐阜師範学校が長良に移転したのに伴い岐阜市長良六本松に「望峰寮」が設置された。（定員 115 人）
1949 年 5 月	岐阜大学の設置に伴い各寮は農学部及び学芸学部（現在の教育学部）へ移管された。
1959 年 4 月	那加門前町敷地が手狭となったため、「凛真寮」は体育施設と共に那加東亜町に移転改築され、学生部管理となった。（定員 128 人）
1966 年 4 月	「玲朋寮」が長良竜東町に移転改築された。（定員 72 人）
1981 年 1 月	「黒野寮」第 1 期工事が竣工した。
1981 年 10 月	「凛真寮」を廃止し、農学部学生のための移行措置として、統合のために空いた工学部電子工学科棟を改修して仮宿舎とした。（定員 40 人）
1981 年 10 月	「黒野寮」が開寮した。（定員 150 人）
1982 年 10 月	「瑞天寮」を廃止（仮宿舎も同時に廃止）した。
1984 年 4 月	「黒野寮」第 2 工事が竣工した。
1984 年 3 月	「望峰寮」・「玲朋寮」を廃止した。
1984 年 4 月	「黒野寮」の入学定員を男子 200 人女子 75 人とした。

（写真は「岐阜大学の五十年」から転用）

岐阜大学学務部学生支援課
〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1
Tel (058)293-2161, 3198